

成分名	セトステアリルアルコール
英名	Cetostearyl Alcohol
CAS No.	8005-44-5
収載公定書	薬添規 外原規 EP NF
A TOXNET DATABASE へのリンク	https://chem.nlm.nih.gov/chemidplus/number/8005-44-5

投与経路	用途
一般外用剤	基剤、賦形剤、乳化剤
経口投与	

セトステアリルアルコール(cetostearyl alcohol)は【セタノール】(cetyl alcohol)及び【ステアリルアルコール】(stearyl alcohol)のほぼ等量の混合物であるので、それらの項も参照。

以下については該当文献なし

1. 単回投与毒性
2. 反復投与毒性
3. 遺伝毒性
4. 癌原性
5. 生殖発生毒性
6. 局所刺激性
7. その他の毒性

8. ヒトにおける知見

① 化粧クリームや口紅の基材として用いられる Lanette N による接触アレルギーについては Stolze らの報告を始めいくつかの報告があり、陽性率は 0.17~4.9%の範囲であった。Lanette N は 90%の Lanette O(cetyl alcohol と stearyl alcohol の混合物)と Lanette E(sodium cetyl stearyl acid ester)からなる。筆者らは 1977 年 1 月 24 日から、1979 年 4 月 30 日までの間、1100 名の患者について Lanette N に対するパッチテストを行い、反応を調査したところ、27 名(2.67%)が陽性であった。このうち 7 名について Lanette O、cetyl alcohol、及び Lanette N のもう一つの成分である Lanette E(sodium cetyl stearyl acid ester)についてパッチテストを行ったところ、全員が Lanette O に対して陽性(うち 1 名は++)、cetyl alcohol については 4 名が陽性であった。また、Laneete E に対しては全員が陰性であった。¹⁾ (Bandmann, 1980)

② 1977-1981 年に 2064 名のアレルギー患者にパッチテストを実施した結果、3.9%に cetylstearyl alcohol(Lanette O)に対する接触性アレルギーが見られた。これらの患者の 453 名は鬱滞性皮膚炎(stasis dermatitis)及び脚潰瘍(leg ulcer)を病んでいた。これらの 453 名のうち 15%は Lanette O

による接触性アレルギーであった。然るに Lanette アレルギーの全患者の 85%は鬱滞性皮膚炎に脚潰瘍を伴っている場合とそうでない場合があった。²⁾ (Keilig, 1983)

③ Cetostearyl alcohol が成分として含有される Lanette N に対する接触アレルギーについては、パッチテストの陽性率が 0.2~3.9%といくつかの報告がある。1974 年フィンランドで行われた試験では陽性率は 0.7%であり、1979~1983 年に筆者らが行った試験でもほぼ同じ陽性率であった。また、1986 年から 1986 年では 0.8%であった。

④ Lanette N に対するパッチテストで陽性の患者 7 名に、化学的に純粋な cetyl alcohol のパッチテストを行ったところ、1 名のみが陽性を示した。市販の cetostearyl alcohol は C16 アルコール (cetyl alcohol)92.1%、C18(stearyl alcohol) 3.3% 及び 4.6%の炭素数の少ないアルコールからなっている。繰り返し志願試験で 19 人中 4 人が Lanette N 及び Lanette16 の両方に陽性反応をしめした。しかしその中の 4 人のうち化学的に純粋な cetyl alcohol に陽性反応を示したものは 1 人もいなかった。市販の製品中のアレルゲンは cetyl alcohol でも stearyl alcohol でもなく、それに含まれる不純物であると考えられる。したがって cetostearyl alcohol に対する接触アレルギーは患者は (実際は) 少なく、好ましくない反応はかなりマイルドであると考えられる。³⁾ (Hannuksela, 1988)

引用文献

- 1) Bandmann HJ, Lanette O-another test substance for lower leg series. Contact Dermatitis 1980; 6(3): 227-228
- 2) Keilig W. Contact allergy to cetylstearylalcohol(Lanette O) as a therapeutic problem in stasis dermatitis and leg ulcer. Derm Beruf Umwelt. 1983; 31: 50-54
- 3) Hannuksela M, Skin reaction to Emulsifiers. Cosmetics and Toiletries. 1988; 103: 81, 84-86